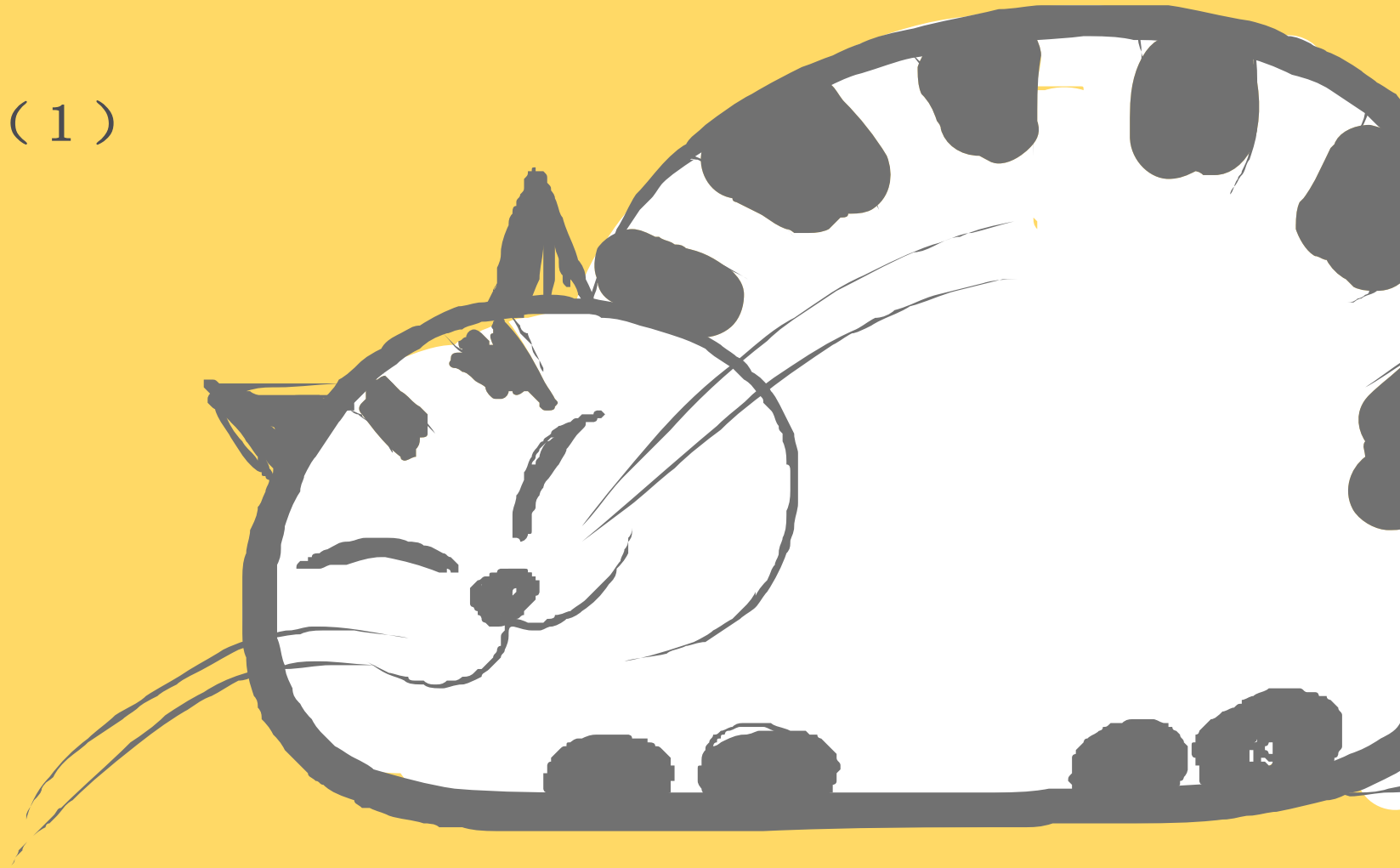


第1課 新生活のスタート

ユニット2 ゼミとは何か(1)



01

読解



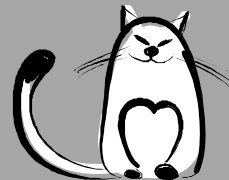
02

新出単語



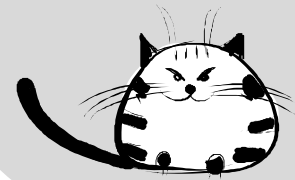
03

文法



04

練習用単語





読解：ゼミとは何か（P17）

本学では、3年になると、ゼミに所属することになっている。ゼミというのは、自分が興味のあるテーマにしぼって勉強するために設けられている授業のことである。

大学の授業時間割は、高校までと違い、時間割表を見て、自分で科目を選択して自分で作るのが特徴である。むろん外国語の授業などのように、必修になっていて自分の自由にならないものもあるが、概して自由に選択できるはずである。同じ時間帯の中から「文学」を取るか、「法学」を選ぶかなどは学生それぞれにまかされる。自分で自分の時間割を作るということは、その作業を通じて、自主性、主体性を確立していく、ということでもある。大学における勉強は与えられるものではない。学生は自ら自主的、主体的に勉強することが期待されているのである。





読解: ゼミとは何か (P17)

本学では、3 年になると、ゼミに所属することになっている。ゼミというのは、自分が興味のあるテーマにしぼって勉強するために設けられている授業のことである。

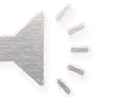
大学の授業時間割は、高校までと違い、時間割表を見て、自分で科目を選択して自分で作るのが特徴である。むろん外国語の授業などのように、必修になっていて自分の自由にならないものもあるが、概して自由に選択できるはずである。同じ時間帯の中から「文学」を取るか、「法学」を選ぶかなどは学生それぞれにまかされる。自分で自分の時間割を作るということは、その作業を通じて、自主性、主体性を確立していく、ということでもある。大学における勉強は与えられるものではない。学生は自ら自主的、主体的に勉強することが期待されているのである。





読解: ゼミとは何か (P17)

その大学での勉強の一つの区切りが、ゼミを選択するこの時期とも言えるだろう。人文学部の「履修ガイド」を見ると、「山の手と下町」「日本人と漢字」「日本語教育のための教材と教具の研究」「日中関係の歴史」「マスコミの発達と民主主義の関係」など、興味をひくテーマが並んでいる。そこから、自分が最も興味を持てそうなものを選んで、2年間それを中心に勉強をするわけだ。ゼミの指導教員のもとで、同じ関心を持つ先輩や学友とともにさまざまな角度から学んでいくのである。





読解: ゼミとは何か (P17)

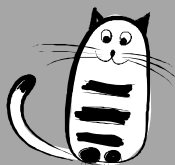
ゼミの主役はあくまでも学生である。講義のように先生の話を一方向的に聞くのではなく、自分で調べたり、考えたりしたことを発表する。それをもとにみんなで討論する。先生は学生が道に迷ったときに方向を示したり、必要な手助けをする役をつとめるべきなのである。このゼミを通して学生の自主性、主体性が養われるはずである。大学において身につけるべきこととは、単に知識の量ではなく、自分で考え、判断する力であろう。その意味で、ゼミこそが、大学生生活の締めくくりに最もふさわしい時間と言えるだろう。

『東西大学履修ガイド』より



01

読解



02

新出単語



03

文法



04

練習用単語





新出単語 (P18)

1. **本学** (ほんがく) ①<名> : 本校 (专指大学)
2. **しぼる** (絞る) ②<他Ⅰ> : 挤; 限定; 集中
3. **設ける** (もうける) ③<他Ⅱ> : 准备; 设立; 设置
4. **時間割表** (じかんわりひょう) ④<名> : 时间表; 课程表
5. **むろん** (無論) ⑤<副> : 当然; 不用说
6. **必修** (ひっしゅう) ⑥<名> : 必修; 必选
7. **概して** (がいして) ⑦<副> : 一般; 大体; 大致



新出単語 (P18)

8. **時間帯** (じかんたい) ①<名>: 時間帯; 时间段
9. **法学** (ほうがく) ①<名>: 法律; 法学
10. **任す** (まかす) ②<他 I>: 交给; 听任; 任凭
11. ～における+名词: 在～ (方面) 的; 关于～的
12. **自主性** (じしゅせい) ①<名>: 自主性

 自主 (じしゅ) ①<名>: 自主; 独立自主; 主动

 -性 (-せい) : -性



新出単語 (P18)

13. **主体性** (しゅたいせい) ①<名>: 主体性; 独立性

主体 (しゅたい) ①<名>: 主体; ~人; 核心

14. **確立** (かくりつ) ①<名・自他III>: 确立

16. **区切り** (くぎり) ③<名>: 阶段; 句子的停顿处; 段落

17. **山の手** (やまのて) ①<名>:(在农村或城镇里)靠山的地方; 城市中地势较高的地区。

在东京特指四谷、青山、市谷、小石川等住宅密集的地区

18. **下町** (したまち) ①<名>:(都市中) 低洼地区; 在东京特指下谷、浅草、神田、日本

桥等老城区



新出単語 (P18)

- 19. 教材 (きょうざい) ①<名>: 教材
- 20. 教具 (きょうぐ) ①<名>: 教具
- 21. マスコミ (mass communication) ①<名>: 大规模宣传报道; 宣传工具
- 22. 発達 (はったつ) ①<名・自 III>: 发达; 发展
- 23. 民主主義 (みんしゅしゅぎ) ④<名>: 民主主义
- 24. ひく (引く) ①<他 I>: 引起



新出単語 (P18)

- 21. 並ぶ (ならぶ) ①<自 | >: 排列; 排; 摆满; 比得上
- 26. わけ①<名>: (进行解释说明) 因此~
- 27. もと (下) ②: 在~下
- 28. 学友 (がくゆう) ①<名>: 学友; 同学; 校友
- 29. 角度 (かくど) ①<名>: 角度; 观点; 立场
- 30. 主役 (しゅやく) ①<名>: (影・剧) 主角; (转) 主要人物



新出単語 (P18)

31. **あくまで** (飽くまで) ②①<副>: 始终; 到底
32. **講義** (こうぎ) ①<名・他Ⅲ>: 讲授; 讲解; 讲义
33. **一方的** (いっぽうてき) ①<形Ⅱ>: 单方面的; 一方面的; 片面的
34. **討論** (とうろん) ①<名・自他Ⅲ>: 讨论
35. **迷う** (まよう) ②<自Ⅰ>: 迷路; 困惑; 茫然
36. **手助け** (てだすけ) ②<名・他Ⅲ>: 帮助; 帮



新出単語 (P19)

37. 役 (やく) ②<名>: 角色; 任务; 工作
38. つとめる (務める) ③<他II>: 担任; 扮演; 做
39. ～を通して (～をとおして): 通过～
40. 養う (やしなう) ③<他I>: 培养; 抚养
41. ～において: 在; 在～方面
42. 単に (たんに) ①<副>: 只; 仅; 单
43. 判断 (はんだん) ①<名・他III>: 判断; 推测



新出単語 (P19)

44. 締めくくり (しめくくり) ①<名>: 总结; 结束

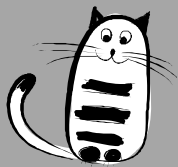
45. ふさわしい (相応しい) ④<形 I>: 适合的; 相称的; 般配的

46. 履修ガイド (りしゅうguide) ④<名>: 学习指导; 课程介绍

履修 (りしゅう) ①<名・他 III>: (在规定的期间内学习规定的课程)学习科目; 完成学
业; 学完

01

読解



02

新出単語



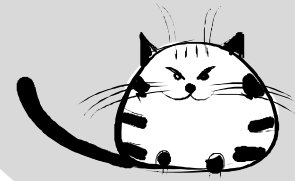
03

文法



04

練習用単語





文法 (P20)



～ことになっている < 约定、惯例 >

表示日常生活中的计划，习惯，惯例，约定，法律或规章制度的约束以及客观规律等。



接续：Vる・Vない／Nという＋ことになっている

例：日本では18歳以上が成人ということになっている。

午後の会議は2時からということとなっております。（～こととなっている）

鈴木先生は新学期から大学院で講義することになっていた。（～ことになっていた）





文法 (P21)



～というのは～（の） ことである < 解释、说明 >

用于对某个词语进行释义或说明。相当于汉语的“所谓～，是（指）...”。



接续：N + というのは、连体修饰形 + ことである／だ／です Nの／ナAな + N

例 ： 学割 **というのは** 学生割引制度 **のこと**である。

千秋楽 **というのは**、相撲や演劇公演の最後の日 **のこと**である。せんしゅうらく

オリエンテーション **というのは** 新入生や新入社員に行なう説明会 **のこと**である。

年中無休 **というのは** 商店などがどんな日も休まない **こと**である。





文法 (P21)



～ということは～（ということ）である＜解释、说明＞

用于对某一事物或事项进行解释，说明，这种说明多为说话人的推理，判断或评价。“～是...；～就是...”。

✓ 接续：N／普通形＋ということは、普通形＋（ということ）である・だ・です

例　：大人になる **ということは** 自分の行動に責任を持つ **ということだ**。

試験に合格した **ということは**、勉強して知識を身につけ、合格レベルに達している **ということだ**。

時給800円 **ということは**、月曜から金曜まで毎日8時間働いても一か月で15万円にもならない **ということだ**。





文法 (P21)



Nにおける修飾名词／において 中顿 <空間> <時間>

接在表示地点、时代、领域等词后面，表示“在～；在～方面”。**书面语。**



接续：N＋において／におけるN

例　：第29回オリンピックは中国の北京において、開催されました。

現代社会における環境問題について研究したい。

彼のようなすばらしい人に出会えたのは人生における最大の幸運だった。

今回の風力発電施設の建設は自然エネルギー開発において大きな意味があると言われている。





文法 (P22)



Nを通じて <手段、方法> <贯穿>

接续：N + を通じて／を通して（とおして）



①表示借助某种工具、手段或方法达到后句所述的目的。

例　　：その人を通じていろいろな方に出会えてとても楽しかったんです。

3人はインターネットを通じて知り合った。

そのコンサートはテレビを通じて全国に放送された。





文法 (P22)



Nを通じて <手段、方法> <贯穿>

接续：N + を通じて / を通して



②接在「一年、年間、四季、一生、生涯」等表**时间**的名词后面，表示在此期间内一直持续某一状态。

例：ここは一年を通じて雨が多い。

温水プールは年間を通じて利用できる。

この公園では、四季（しき）を通じてさまざまな花を楽しむことができる。





～わけだ<说明> 訳+だ



用于说明，即陈述某一个事实，认为它是事情发展的必然结果；也可以表示对因果关系的认同，“难怪～”。

接续：普通形（ナAな／Nの）＋わけだ



例：時給20元だから、一日に5時間働けば、100元もらえるわけだ。

カラオケの好きな人が増えたため、カラオケボックスがこんなに広がったわけだ。

そんなことを言ったから、先生に怒られたわけだ。

A: 彼女は日本に5年ぐらい留学していたらしい。

B: なるほど、日本の事情に詳しいわけだ。





文法 (P22)

Nのもとで<影响、支配>



表示在某种影响力巨大的事物之下或在某条件或情况的范围内做某事。“在~之下”。**书面语。**



接续：N + のもとで

例：木村先生のご指導のもとで研究を行ってきた。

どうしてこの人のもとで働きたいと思っているんですか。

今日は、暖かい太陽のもとでのんびりと楽しい時間を過ごしましょう。





文法 (P23)



～とともに＜共同動作主体＞＜同时＞

①表示共同动作的主体。“与～一起”。**书面语**。



接续：N＋とともに

例：週末は家族とともに過ごしたい。

地域の住民は、地域の子供たちの活動を学校とともに支援している。

彼はその薬をコップ1杯の水とともに飲んだ。





文法 (P23)



～とともに<共同動作主体><同時>

②表示两种状态同时存在。“在～的同时”。**书面语**。

接续：Vる／イAい／ナA／Nである＋とともに

例：日本語を勉強するとともに経済学の授業にも出ている。

多くの方々に協力していただき、うれしいとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

不安とともに期待があった。

あの人は学者であるとともに、教育者でもある。

ベルが鳴るとともに、子どもたちはいっせいに運動場へ飛び出した。





文法 (23)

こそ < 凸显 >



用于凸显、强调名词所指的事物，以区别于其他同类事物。“不是别的，正是~”。在强调负面的、不好的意义时**不使用**本句型。

接续：N（+助词）+こそ



例：健康こそがこの上ない幸せだ。

姉は、今年こそ結婚したいと言っていた。

こういう時にこそ、友だちの大切さがわかる。

大変な時だからこそ、協力することが大切なんです。

×丸暗記こそやりたくない。→丸暗記なんかやりたくない。



01

読解



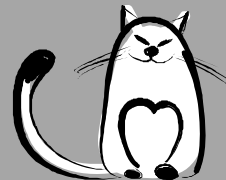
02

新出単語



03

文法



04

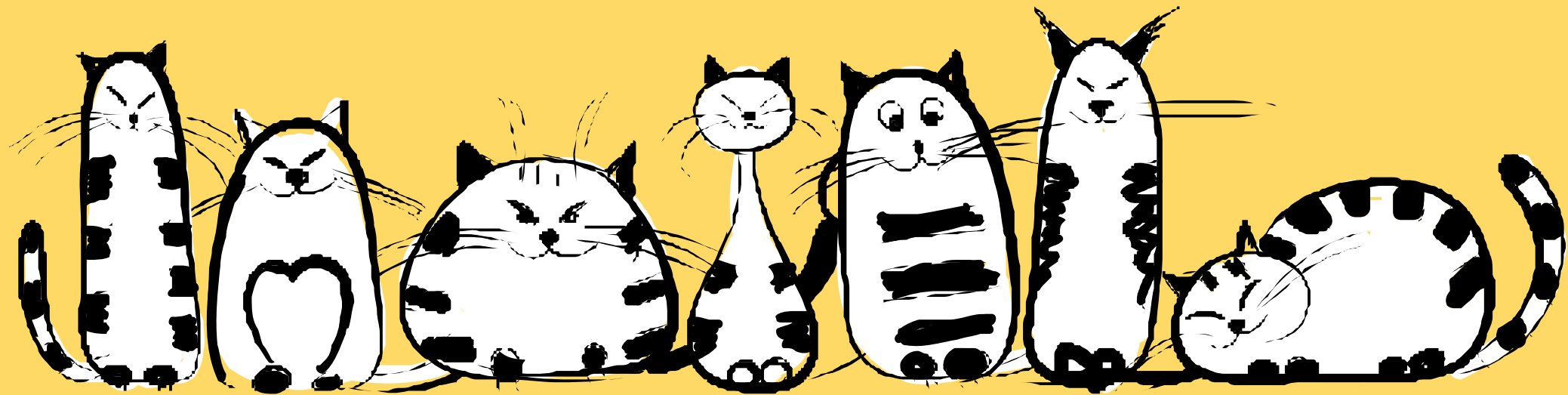
練習用単語





練習用単語 (P23)

1. 負ける (まける) ①<自Ⅱ>: 输; 让步; 屈服
2. 価値観 (かちかん) ②<名>: 价值观
3. 感性 (かんせい) ①<名>: 感性; 感受性; 悟性
4. リラックス (relax) ②<名・自Ⅲ>: 放松; 轻松; 缓和!
5. 一員 (いちいん) ①<名>: 一员; 一份子
6. 義務 (ぎむ) ①<名>: 义务
7. 国民 (こくみん) ①<名>: 国民
8. 訓練 (くんれん) ①<名・他Ⅲ>: 训练
9. 公開 (こうかい) ①<名・他Ⅲ>: 公开; 开放



课文翻译

在我们学校，从三年级开始，就可以选修研讨课。研讨课是为了使学生能够进一步学习，探讨自己感兴趣的课题而开设的课程。

大学的课程设置与高中阶段的课程设置不尽相同，学生可以根据上课时间自选课程来制定自己的课表，这是大学课程的特色。当然，像外语课等课程是必修课，不能自由选择，但总体上还是可以自己掌握的。在同一时间里，是选文学课还是选法律课，由学生自己来决定。学生自己来制定自己的课表，这一做法有助于培养他们的自主性和主动性。大学的学习方式不是等着老师来教，而是学生自主的，主动地去学。



课文翻译

选修研讨课可以说是大学学习的一个新阶段。看一看人文学院的《选课手册》，便会发现上面列着很多有趣的课题，如“山手线沿线地区以及老城区”，“日本人和汉字”，“关于教育教材与教具的研究”、“中日关系史”以及“大众传媒的发展与民主主义的关系”等等。学生们可以从这些课题中选出自己最感兴趣的，在以后的两年中以此为中心继续学习。在研讨课任课教师的指导下，与对同一课题感兴趣的同年级或高年级的学生一起从各个角度进行学习，探讨。

说到底，研讨课的主体是学生，学生在课上就不能像普通课程一样只是听老师讲，而是要把自己查阅，思考的东西讲给别人听，并在此基础上进行集体讨论。老师的作用是在学生迷失方向的时候予以提示，并为他们提供必要的帮助。通过这种研讨课，学生的自主性，主动性都会得到培养和锻炼。学生在大学期间要掌握的不单是知识的多少，还有独立思考以及判断的能力。从这意义上来说，要为大学生会画上圆满的句号，研讨课或许是最适合的地方。



1. 彼は何事にも真面目（）、人には好かれていない。

A. のことだから

B. なかわりに

C. なわりに

D. といっても

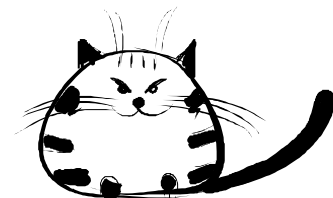
2. 超久しぶりにホームページを更新してみました。更新した（）何もしてないですけど。

A. わりには

B. ことだから

C. といっても

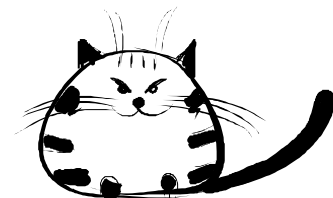
D. といえども



3. 山口「就職するんだったら、やっぱり社会的に信用のある大きい会社がいいな。」

田中「そうはいつでも、_____。」 といっでも

- A. 小さい会社給料が安いからね
- B. 大きい会社なら、信用があるだろう
- C. そういう会社には入るのが難しいよ
- D. そういう会社のほうが信用されるだろう



4. A 「4月から外国語の学校に通ってるの。」

B 「へえ、がんばってるね。」

A 「といっても、（ ）。」

A. 新しい教科書と辞書を買ったの

B. 毎日行ってるんだけど

C. とても上手に話せるようになったの

D. 週に1回だけだけど

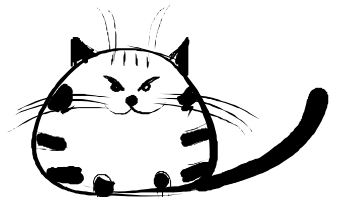
5. 好きなことを職業にする人が多いが、私は映画が好き（ ）、職業にはしないことにした。

A. などころか

B. なわりには

C. だからこそ

D. というより



6. スポーツならなんでもやる鈴木さん（ ）、きっとスキーも上手でしょう。

A. のことから

B. をたよりに

C. はもとより

D. から見れば

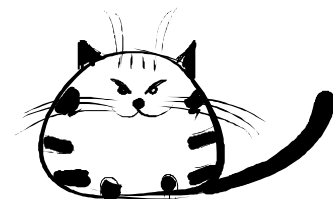
7. 田中さんはもともと世話好きで、誰に対しても親切だ。そんな彼女の（ ）、
困っている友達をほうっておけなかったのだろう。

A. ものだから

B. ことから

C. わけだから

D. ところだから



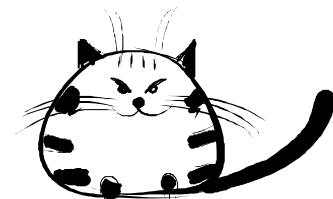
8. もう約束の時間を30分も過ぎたから、彼女が__。

- A. 来ないそうです
- B. 来なさそうです
- C. 来るそうではない
- D. 来そうもないです

9. 甲: お体の具合はどうですか。

乙: もう大丈夫__。

- | | |
|-----------|---------|
| A. だみたいです | B. ようです |
| C. だそうです | D. そうです |



10. A: 「パソコンの電源を消しましょうか」

B: 「まだ使いますから、() ください」

A. 消してしまって

B. そのままにしておいて ておく

C. 消しておいて

D. つけてしまって

11. これは私の本ですよ。私の名前が書いて () ます。

A. い

B. おき

C. いまい

D. あり

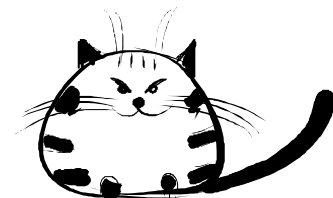
12. 日本語のテストで満点を取って、先生に () 。

A. 褒める

B. 褒めていた

C. 褒められた

D. 褒めさせた



- A. やきそばを作る
- B. ラーメンを作る
- C. 注文をとる
- D. 買い物に行く

女の人と男の留学生が話しています。男の留学生は土曜日、何をしなければなりませんか。

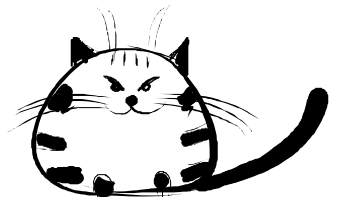
女：あ、リーさん。今週の土曜日にこの町でお祭るがあって、私たち店を出すんだけど。よければ、ちょっと手伝ってもらえない？

男：お祭りですか、いいですね。何を手伝いましょうか。

女：料理は得意？焼きそばは作れる？

男：あんまり得意じゃないですけど、ラーメンなら作れます。

女：そう。うーん、ラーメンはメニューにないから。じゃ、リーさんは注文をとってもらえる？



男：はい。

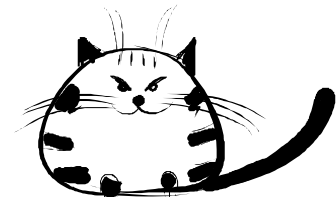
女：それから、金曜日のお昼ごろ、もし時間があったら、買い物に一緒に行ってもらいたいんだけど。

男：あ、昼間は授業があるんです。夕方なら時間がありますが。

女：そうか。じゃ、無理ね。じゃ、それがいいね、土曜日、お願いね。

男：はい、わかりました。

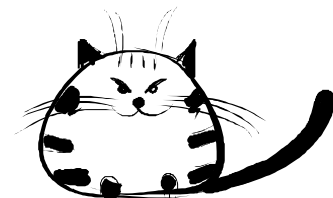
男の留学生は土曜日、何をしなければなりませんか。



5. 新しい学生が来た。日本語学部の__そうだ。 据说 听说 简体
 A. 留学生だ B. 留学生で 推测 动词第一连用形
 C. 留学生の D. 留学生な 形容词词干+

6. 甲: どうしたんですか。熱があるんですか。
 乙: ええ、__。喉も頭も痛いです。
 A. 風邪のようです B. 風邪そうです
 C. 風邪のらしいです D. 風邪のみたいです

7. 彼女はその子を自分の息子__可愛がっている。
 A. ように B. ような 连体形+ようだ
 C. みたいに+用言 D. みたいな+体言



8. 親が苦勞している（ ）、子供は氣樂に遊んでいる。 连体形+わりには

- A. わりには
- B. といっても 简体
- C. を通じて
- D. において

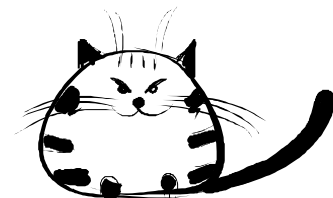
9. 病院、図書館、劇場__ところでは携帯電話を使わないほうがいい。 示例

- A. らしい
- B. のような
- C. ような
- D. のみみたいな

连体修饰语从句的主语用が、の

10. 子どものころ、母()作ったハンバーグが大好きで、よく作ってもらった。

- A. の
- B. との
- C. によって
- D. にとって



11. (内線電話で)

山田「はい、山(やま)田(だ)です。」

木村「受付の木村ですが、X社の中川様が(尊他)。」

山田「わかりました。すぐ行きます。」

A. 伺いました 自谦 聞く 訪ねる 訪問する B. お目にかかりました 自谦 会う

C. ございました ある D. お越しになりました 尊他 来る

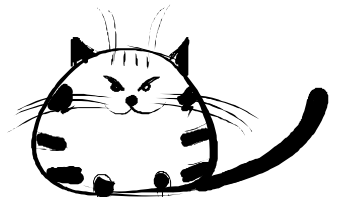
見える

12. せっかく、夕日がきれいなことで有名なA海岸に来たのに、急に雨が降り出した。どうも夕日は()。

A. 見えてもしかたない B. 見られないことだった

C. 見られそうにない D. 見えないことがあった

そうにもない そうもない そうにない



13. 会議中、タバコを吸ってはいけない（ ）。 ことにしている

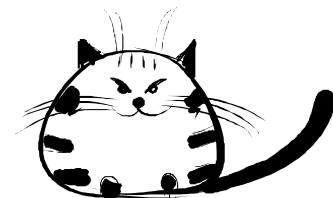
- A. ことにしない B. ことになっている ことにする
C. ことになる D. ことにしている

14. 八歳の娘はときどき大人（ ）話します

- A. みたいな B. ように
C. みたいに D. のみたいに

15. 結婚（ ）、いわば恋愛の墓場のようなものですかねえ。 というのは

- A. には B. では
C. のは D. とは



16. 東京は夜でも昼間の（ ）明るいですね。

A. ような

B. みたいな

C. ように

D. みたいに

17. A 「Bさんの地図はいいですね。どこで買ったんですか」

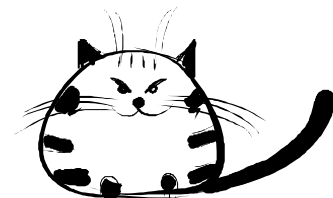
B 「買ったんじゃないくて、ホテルの人が（ ）んです」

A. くれた

B. あげた

C. やった

D. もらった

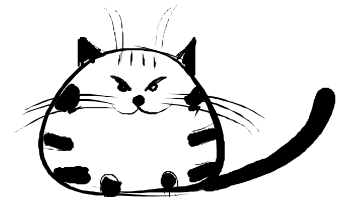


あのう、この書類についていくつかお伺いたいことがあるんですが。

- 1 はい、为什么呢。
- 2 とくにありませんけど。 いくらですか
- 3 さあ、いくつかわかりません。

いらっしゃい、お待ちしていましたよ。どうぞ、おはいりください。

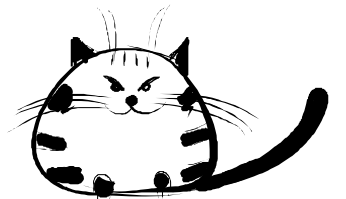
- 1 ぜひいらっしゃってください。
- 2 では、お邪魔いたします。 いたす
- 3 いえ、待っておりませんが。



わたしは、家の近くを毎日散歩していますが、今日はいつもと違う道を歩いてみました。ぶらぶら歩いていると、どこからか花のいいにおいがしてきました。知っている香りなのに、それがどんな花なのか思い出せませんでした。でも、そのとき自然に、昔住んでいた家のことを思い出しました。

①それは、田舎の、広い庭がある家でした、祖父と祖母も一緒に住んでいて、にぎやかな毎日でした。隣の家の子ちゃんという女の子と、家の裏にある山に行ったり、近くの川に行ったりして、よく一緒に遊びました。②なつかしい思い出です。

どうしてあの時、昔住んでいた家のことを思い出したのか、わたしは不思議でした。家に帰ってから、昔の写真や祖父、祖母の写真を見ながら、しばらく考えました。そして、昔住んでいた家の庭には、春になると、白くて小さな、かわいい花がたくさん咲いていたことを思い出しました。その花は、今日道を歩いていたときの、あの花と同じ香りだったのです。

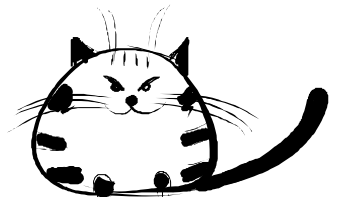


1. ①それとあるが、何のことか。

- A. 散歩の途中で見た、花が咲いている家
- B. 昔住んでいた家によく似ている家
- C. **子どものころ、自分が住んでいた家**
- D. 昔一緒によく遊んだ明子ちゃんの家

2. ②なつかしい思い出とあるが、例えばどんな思い出と言っているか。

- A. 隣の家のでかい庭によく行った。
- B. 祖父と祖母がよく遊びに来た。
- C. 庭で明子ちゃんと花を見た。
- D. **友達と一緒に山や川で遊んだ。**



3. この文章を書いた人は、散歩のときに昔住んでいた家のことを思い出したのはなぜだと考えているか。

- A. 昔住んでいた家の庭に咲いていたのと同じ花の香りがしたから
- B. 昔住んでいた家の庭に咲いていたのと同じ白い花を見たから
- C. 昔住んでいた家の近くの道に咲いていたのと同じ花の香りがしたから
- D. 昔住んでいた家の近くの道に咲いていたのと同じ白い花を見たから

